

快光院だより

令和6年晩秋 第131号



法然上人
浄土宗
開宗850年
お念佛からはじまる幸せ
令和6年

～ご案内～

十日十夜法要 (婦人会法要併修)

11月27日(水)午後1時半より法要

法要終了後、法話

布教師 雲仙市神代・光明寺副住職

稲田充志上人

私(至信)が日頃よりお世話になっている御上人様でございます。どうぞお参りください。

・十夜法要・婦人会法要ではこの1年間の新亡の御霊を追悼いたします。

至心称名 南無阿弥陀仏

例年をはるかに越えた真夏の猛暑の日々の余韻が次第に薄れ、朝、日中、心地よく、寒さも混じえた短い秋の訪れです。如何お過ごしでしょうか。昨年、今年と大切な方々とのお別れ、沈みがちでしたが慶事もありました。故前住職代より幾度も当寺法要布教に来島くださった平戸市大島村の大布教家、日下部匡信師(長徳寺住職64歳)が九月、浄土宗大本山・善導寺(久留米)第68世法主に就任されました。皆様ご記憶の方お有りでしょう。去る六月の二日間、快光院で開催の「長崎教区普通講習会」にも御出席でした。室内暮らしが多く、昔がよく思い出され皆様へのお便りが昔話ばかりですみません。昭和50年代、私は4年近く京都府北部の与謝郡加悦町(現在の与謝野町)に滞在していました。丹後縮緬の町です。同町内に当寺本堂に掲示の「法のしずく」を毎年くださる寶巖寺さんがあり、盆施餓鬼会を手伝いました。

8月15日の朝7時に合わせ参りますと実際はその前から始まっていたのです。勿論遅刻ではなく早朝なので気を使われたのでしょうか。ご住職ご兄弟数人と私を含む僧衆で勤行。祭壇は簡素に一体の大型位牌、灯明、お花、お供え物も簡素に(盆施餓鬼はこれが普通です)。参拝時間が地区ごとに決めてあり初盆家、一般檀家の殆どの方々が参席され次々に導師より手作りの立派な施餓鬼旗を受けとり焼香して帰って行かれます。昼すぎても続き途中数回の休憩をはさみ最後は僧衆と数名の世話人様で内陣の本尊様に勤行して13時頃終了となります。朝何時から始まったのか、暑い中皆様本当に御苦労様とともに荘厳で丁重な盆法要を感じました。この地方どこでも一緒ではなく寺により儀式方法、所要時間いろいろです。ここから歩いて近くの浄土真宗・浄福寺は地元で在家出身の与謝野礼巖(晶子の夫鉄幹の父)が幼い頃から修行したゆかりの寺院で、後に細見姓から「与謝野」姓を名乗りました。又この町出身で先の大戦後、縁あって織物指導で家族で来島、そのまま定住され快光院お檀家になられたお方があり、遠路ご先祖墓参の傍ら私の滞在先のお寺を訪問され再会しました。今はもう故人となられ子孫の方々が島原市内に元気でおられます。昭和40年、住み慣れた筑紫平野から心に決め移住した私の一家は父が昭和54年、母は平成5年に冬は雪深いこの地で生涯を終えました。深い御縁のある町です。今年も残り一月半、諸感染症活発の中、皆様方お体大事に、新年がよき年でありますことを。 合掌

令和六年十一月 快光院住職 永野寶信

釈尊のことば

「人のおもいは、いずこへもいける。されど、いずこへ行っても人はおのれより愛しいものを見つけることは出来ぬ。それと同じに他の人々にあっても、自己はこの上なく愛しいのだ。されば、おのれの愛しさを知るものは他のものを害してはならぬ。」（相応部經典）

この世の中で一番愛しいのは自分であり、それは他人も同じで自分が一番愛しい存在です。自分がされて傷つくことを相手に同じようにすると相手が傷つきます。いずれ相手の仕返しが自分に降りかかります。このことがわかれば、お互いの幸せのためには相手を書さない行いが大切でしょう。ただ相手を書してでも相手のためにする行いについては愛情（慈悲）と理性をもって行う必要があります。

開宗850年知恩院団体参拝を終えて 永野至信

10月8,9,10日の2泊3日で京都の浄土宗総本山知恩院をメインに行き参りました。初日は比叡山延暦寺を訪ねました。法然上人を始め、当時の名だたる御祖師様がこの地で修行されそれぞれの道を歩まれていかれた、いわば日本仏教の源流といえる場所です。現在、本堂は改修中でしたが中に入り手を合わせることができました。二日目は午前中、京都国立博物館で開催中の特別展”法然と極楽浄土”を見に行きました。平安・鎌倉期の絵巻物や仏画が非常にきれいな状態で展示されており、日々修復・保存に携わる方々に感謝の気持ちが芽生えました。午後からはいよいよ知恩院です。到着すると目の前にそびえたつのは国宝の三門。いつ見ても圧倒される存在感です。三門から階段を上っていきますと、大修理を終えた御影堂が姿を現します。堂内では皆様とともにお念仏の声を法然上人へお届けしました。その他、知恩院様の計らいで経蔵や鐘撞堂の中にも立ち入ることができました。知恩院の鐘はとても巨大でビックリします。最後は抹茶の接待を受けて知恩院を後にしました。三日目はバスの中から大阪の街を観て回りました。二日目にだいぶ歩いたこともあり、バスから眺めるくらいで丁度よかったです。その代わりに大阪の街並みを幅広く観ることができました。そのようにして充実した二泊三日が無事に終わりました。次はいつになるかわかりませんが、その際はぜひ皆様一緒に行きましょう。

大晦日 除夜の鐘

12月31日午後11時45分頃より

快光院鐘撞堂にて

1年間の煩惱を払い、清らかな心で新しい年を迎えましょう。



お寺行事

- 12月25日 当寺別時念仏会（午後2時）
（善導大師・法然上人御身拭い式）
- 12月31日 除夜の鐘（午後11時45分頃～）

浄土宗 演暢山 快光院

〒855-0851

長崎県島原市萩原1丁目1227番地

電話：0957-62-2742

Fax：0957-64-6624

Mail：kaikoin.temple@gmail.com

郵便振替：01770-4-92594